

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月1日

団体名 岡崎市日本中国友好協会

代表者 杉浦 洋史

構成員 45 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

第2条(目的)この会は、日中両国民の相互理解と友好を深めることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R8.2.21(土)	りぶら 301	一般市民	約 60 人	第 2 回岡崎市日中友好協会講演会 「わたしと中国」～本当の中国をも っと知ろう～《なぜ、中国に会社を 作ったか》を開催。 講師を当協会副会長の株式会社イ ナック会長の谷口武司氏が務め、日 本のメディアが伝えない本当の中国 と中国人の話をした。人との出会い と信頼が非常に大切だということ を強く訴えた。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

日本のメディアが伝えない本当の中国と中国人のを知ることができ、現在非常に厳しい時期である日中関係であるが、岡崎市民に違う見方を与えることが出来た。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

講演会の開催は、高評価だが、その他にも、今後多くの市民を巻き込む事業をしてきたいため。